

組立済み卓上ボール盤

BENCH DRILL PRESS

取扱説明書

この度は組立済み卓上ボール盤をお買い求めいただき、ありがとうございます。末長くご愛用いただくため、本取扱説明書をよくお読みいただき、必ず保管してください。

もくじ

●はじめに	2
・卓上ボール盤について	2
・仕様	2
●安全上のご注意	3
・ご使用前 △警告	3
・ご使用前 △注意	4
・ご使用中 △警告	5
・ご使用中 △注意	6
・ご使用后 △警告	7
・ご使用后 △注意	7
●各部の名称	8
・主要各部の名称	8
・主要各部の名称と機能	9
・梱包内容の点検	10
●ご使用前に（点検）	11
・差し込みプラグの確認	11
●ご使用前に（準備）	12
・アース	12
・各ねじの増し締め	13
・送りハンドルの取り付け	14
・付属のドリルバイスの取り付け	14
・ドリルビットの取り付け	15

・ドリルバイスでの加工物の固定方法	16
・本体の固定	16
●運転手順	17
・基本の加工	17
・穴あけ深さ調整加工	19
・ドリル径、加工物材質と回転速度の目安	19
・作業テーブルの傾斜を調節しての加工	20
●終了手順	21
・終了手順	21
●故障かな？と思ったら	22
●回転速度の調整／ベルトの交換	24
・回転速度の調整	24
・ベルトの取り外し	26
・ベルトの取り付け	27
●ドリルチャックの交換	28
・ドリルチャックの交換	28
●保守と点検	30
・先端工具の点検	30
・作業後のお手入れ	30
・各部取付ねじの点検	30
・保管について	30



◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

株式会社パオック

外観、仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

はじめに

■卓上ボール盤について

- ◆各種軟金属・木材・樹脂等の穴あけ加工作業を行う電動工具です。
- ◆ベルトの位置を調整して、回転速度を調整できます。

■仕 様

型 式	DP-220KPA					
定 格 電 圧	AC100V					
定 格 周 波 数	50Hz／60Hz					
定 格 消 費 電 力	220W					
定 格 時 間	15分					
回転速度	ベルト位置(下から)	1段目	2段目	3段目	4段目	5段目
	50Hz	620min ⁻¹	920min ⁻¹	1280min ⁻¹	1750min ⁻¹	2620min ⁻¹
	60Hz	740min ⁻¹	1100min ⁻¹	1530min ⁻¹	2100min ⁻¹	3140min ⁻¹
チャッキング可能径	φ1.5～13mm					
最大ストローク	約50mm					
穴 あ け 能 力	鉄工：φ8mm／木工：φ24mm					
テーブル傾斜角度	左右45°					
テーブルサイズ	約160×160mm					
ベースサイズ	約185×295mm					
チャック先端から テーブルまでの最大距離	約170mm					
チャック先端から ベースまでの最大距離	約255mm					
フ ト コ ロ	約105mm					
振 り	約210mm					
適合ドリルチャック	B16					
本 体 高 さ	約580mm					
質 量	本体：約15.0kg／ドリルバイス：約1.2kg					
電 源 コ ー ド	約1.6m					
付 属 品	・送りハンドル …………… 3個 ・ドリルバイス (最大口開:約58mm/口幅:約62mm/口の深さ:約16mm) …… 1個 ・六角棒レンチ (3mm／4mm) …………… 各1本 ・チャックハンドル …………… 1個 ・ドリルバイス固定セット一式 (ボルト4個/ワッシャ8個/スプリングワッシャ4個/ナット4個)					

※品質改良のため、外観・仕様など一部変わることがあります。

安全上のご注意

安全作業上、事故を未然に防ぐため、次に述べる注意事項をよくお読みの上、指示に従ってください。

本取扱説明書の注意事項は、「⚠警告」、「⚠注意」に区分されています。

⚠ 警告

この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

⚠ 注意

この表示は取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を表しています。

なお、⚠注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重大な内容を記載しておりますので必ず遵守してください。

ご使用前

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みいただき、使い方を十分理解してください。
2. 作業はきちんとした服装で行ってください。
 - ・作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴などの保護具を着用してください。
 - ・ネクタイ、手袋、袖口の開いた服装は、可動部に巻き込まれる恐れがあります。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・本機は、雨の中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用・設置したりしないでください。
 - ・可燃性の液体やガスのあるところでは使用しないでください。
4. 本機は水平な場所に、安定した状態でしっかりと固定してください。
 - ・不安定な場所に置くと、転倒等により事故やけがの恐れがあります。
5. 各部のボルトやねじにゆるみがないことを確認してください。
 - ・そのまま使用すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
6. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧（AC100V）でご使用ください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

安全上のご注意

ご使用前



警告

7. 電源はコンセントから取り、ご使用ください。
 - ・ポータブル電源や蓄電池等は、電圧や周波数が安定しない場合があり、誤動作や故障の原因となります。
8. 必ずアース線を接続してください。
 - ・故障や漏電の際、感電する原因になります。
 - ・アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続する電気工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店に依頼してください。 **P12**
9. アース線を水道管やガス管に接続しないでください。
 - ・破損や引火の危険があります。
10. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ・電源コードを引っ張って本機を移動させたり、電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。
 - ・電源コードを熱、油、角の上がった所に近づけないでください。電源コード損傷の原因になります。
11. 本機は大切に取り扱いってください。誤って落としたり、ぶつけた時は、機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
12. 不意な始動は避けてください。
 - ・差し込みプラグを電源に差し込む前に、電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

ご使用前



注意

1. 作業場はいつも明るく、きれいにしてください。
 - ・暗かったり、散らかった場所での作業は事故の原因になります。

ご使用中 **警告**

1. 揮発性可燃物のそばで使用しないでください。
 - ・引火または爆発の恐れがあるため、危険です。
2. 子どもを近づけないでください。
 - ・作業者以外、本機やコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 不意な始動を避けるため、次の場合は必ず電源スイッチをOFFにし、差し込みプラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または点検する場合
 - ・ドリルビットや加工物の取り付け
 - ・停電した場合
 - ・本製品を移動する際、その他、危険が予想される場合
4. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足もとを安定させ、バランスを保つようにしてください。
5. 加工する際は、必ずしっかりと固定してください。
 - ・場合によっては、市販のバイス等をご使用ください。
6. ドリルビット等の部品の取り付けの際は、取扱説明書に従い、確実に取り付けてください。
 - ・不確実な取り付けは、外れて事故やけがの恐れがあります。交換した際は、必ず確実に取り付けられていることを確認してから作業してください。
7. 運転中は、ドリルビットおよび、可動部に手や体を近づけないでください。
 - ・特に加工物の下に手や足を近づけないでください。穴が開いた際にけがをする恐れがあります。
8. 加工直後はドリルビット・加工物に触らないでください。
 - ・ドリルビット・加工物が熱くなっており、やけどをする危険性があります。交換の際は、加工後、時間をおいてください。
9. 使用中、機体の調子が悪かったり異常音が生じた時は、直ちに電源スイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または当社までご連絡ください。
 - ・そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。

安全上のご注意

ご使用中



注意

1. 誤って落したり、ぶつけた時は、本体に破損や亀裂、変形がないことを確認してください。
 - ・破損や亀裂、変形がある時は使用しないでください。
2. 本機定格時間以上の連続してのご使用は、おやめください。
 - ・モータの負荷や、ドリルビット等が高熱になる等、故障や事故の恐れがあります。
3. ご使用中、ドリルをロックさせないようにしてください。
 - ・モータに必要以上の負荷がかかり、故障や事故の恐れがあります。

ご使用後 **警告**

1. 電源スイッチをOFFにした後、差し込みプラグを電源から抜いてください。
 - ・不意な作動で、思わぬ事故やけがの原因になります。
2. 電源スイッチを切った後も、惰性で回転しますので、ドリルビットや回転部には十分注意してください。
 - ・手や体に触れると、けがをする恐れがあります。
3. 本機を分解、改造しないでください。
 - ・事故やけが、故障の原因になります。
4. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・そのまま使用していると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や故障の原因になります。
5. 注意深く手入れをしてください。
 - ・電源コードや差し込みプラグは定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店または当社までご連絡ください。
 - ・ハンドルは常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

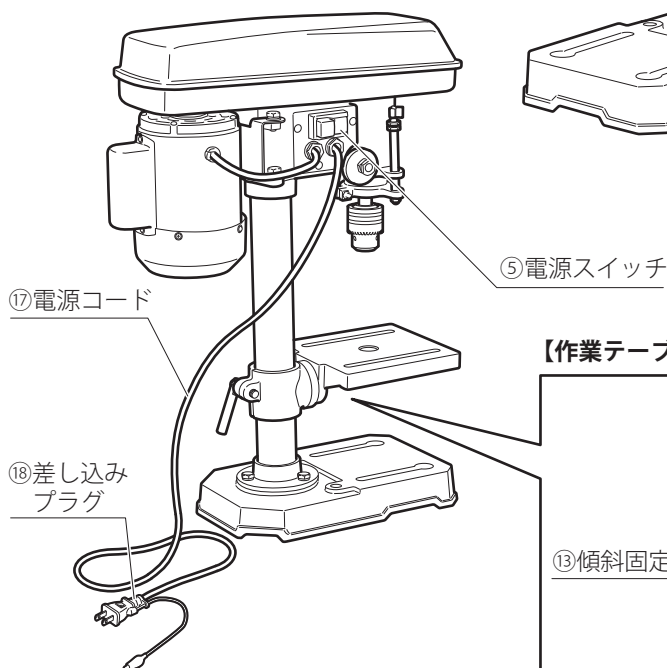
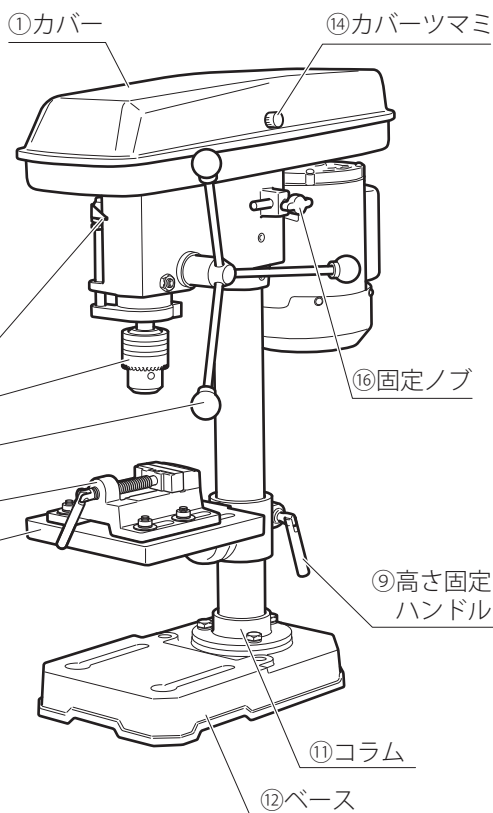
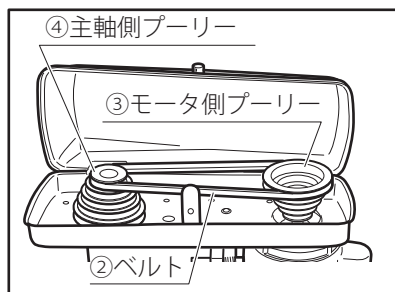
ご使用後 **注意**

1. 使用しない場合はきちんと保管してください。
 - ・お子様の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光の当たる所は避けてください。

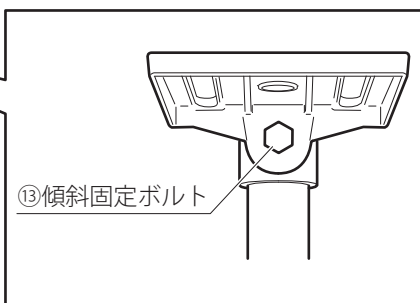
各部の名称

■主要各部の名称

各部の名称



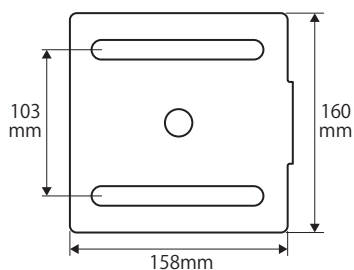
【作業テーブル下部】



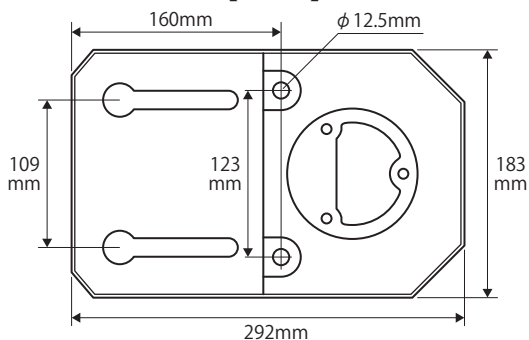
■主要各部の名称と機能

	名 称	機 能
①	カバー	本体内部を保護するためのカバーです。
②	ベルト	モータの回転を主軸側プーリーに伝えているベルトです。(Vベルト K-25相当)
③	モータ側プーリー	回転速度の変更を行います。
④	主軸側プーリー	回転速度の変更を行います。
⑤	電源スイッチ	電源のON/OFF操作を行います。
⑥	ドリルチャック	ドリルビットを固定します。
⑦	送りハンドル	ドリルチャックの上げ下げを行います。
⑧	作業テーブル	加工物を置き、作業を行います。(ドリルバイス取付用穴付)
⑨	高さ固定ハンドル	作業テーブルを固定します。
⑩	ドリルバイス	加工物を固定します。
⑪	コラム	ヘッド・作業テーブルを固定します。
⑫	ベース	本体を支えるベースです。
⑬	傾斜固定ボルト	作業テーブルの傾斜位置を固定します。
⑭	カバーツマミ	カバーを開くときのツマミです。
⑮	ストローク調整ゲージ	穴あけ深さの目安としてご使用ください。 深さ調整ナット付きで穴あけ深さを調節できます。
⑯	固定ノブ	モータの位置を固定しています。回転速度の調整時やベルトの交換時、モータの位置を調整する際に使用します。
⑰	電源コード	電源コードです。
⑱	差し込みプラグ	差し込みプラグです。

【作業テーブル】



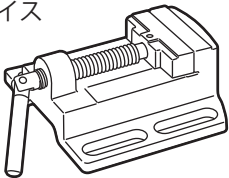
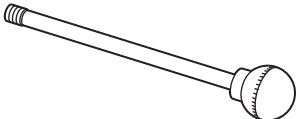
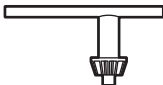
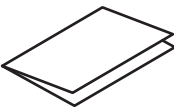
【ベース】



各部の名称

■梱包内容の点検

開梱後、次の物が揃っているか確認してください。

部品名・形状		数量	部品名・形状	数量
ドリルバイス 		1	送りハンドル 	3
ドリルバイス固定セット	ボルト 	4	六角棒レンチ 3 mm 	1
	ナット 	4	六角棒レンチ 4 mm 	1
	スプリングワッシャ 	4	チャックハンドル 	1
	ワッシャ 	8	取扱説明書 	1

※部品が不足している場合は販売店または当社までご連絡ください。

⚠ 警告

梱包内容をご確認いただき、不足していた場合は使用しないでください。
また電源コード、差し込みプラグなども差し込まず、不足部品が揃ってから使用してください。

梱包されている部品の他に、以下の道具をご用意ください。

◎増し締め、調整 … スパナ (14mm・19mm) **P13・20**

◎ドリルバイスの取り付け … スパナ (17mm) **P14**

◎ドリルチャックの交換 … スパナ (16mm以上)、捨て木 **P28**

ご使用前に（点検）

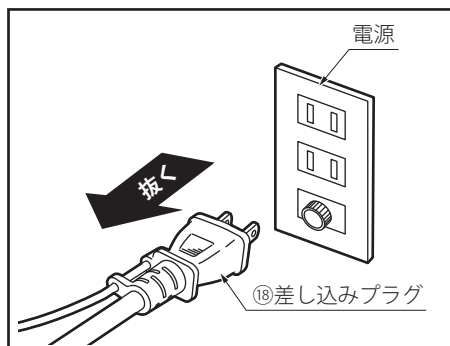
※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■差し込みプラグの確認

差し込みプラグが電源 (AC100V) に差し込まれていないことを確認してください。差し込んである場合は電源より抜いてください。

⚠ 警告

電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡（ショート）の原因になります。電源コードは乱暴に扱わないでください。



ご使用前に（準備）

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

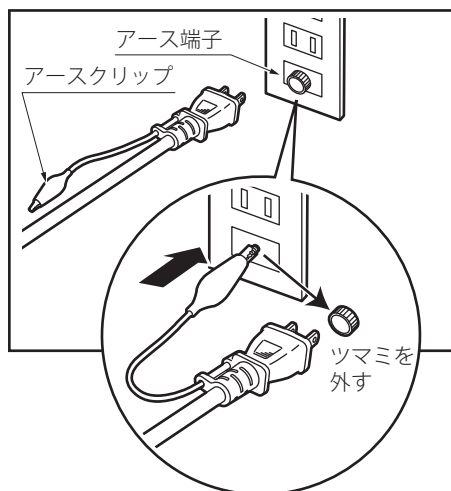
■アース 本機の故障や漏電の際に電流を外へ逃がし、感電事故を防止します。

アースは、本機に異常な電流が流れ込んだり、本機から電流が漏れる等の故障が起きた際に、電流を外へ逃がします。作業の前に、感電事故防止のため、必ずアースクリップを接地（アース）してください。

- ・アース端子のツマミを外して、アースクリップを接地（アース）してください。

⚠ 注意

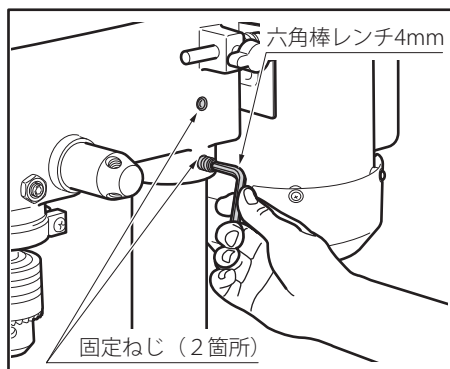
アース端子がない場合、アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続する電気工事が必要です。この工事は、**電気工事士の資格**が必要です。お近くの電気工事店へ依頼してください。



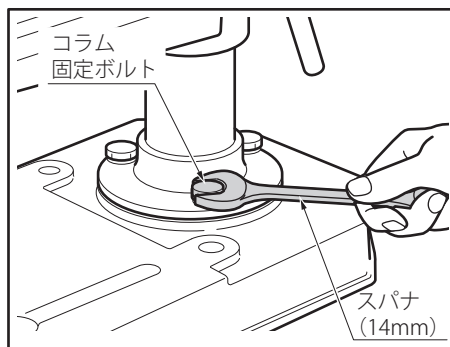
本体は組立済みになりますが、下記作業を実施の上、ご使用ください。

■各ねじの増し締め

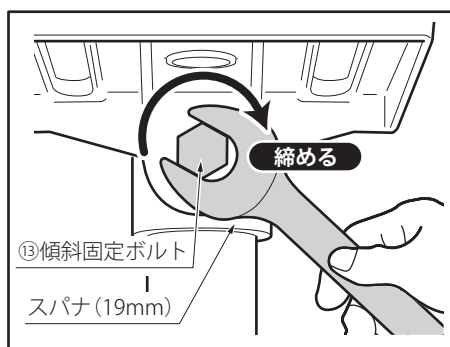
- ①付属の六角棒レンチ 4 mm で 2箇所
固定ねじを締めます。



- ②スパナ(14mm) でコラム固定ボルト
(3箇所) を締めます。



- ③スパナ(19mm) で傾斜固定ボルトを
締めます。



ご使用前に（準備）

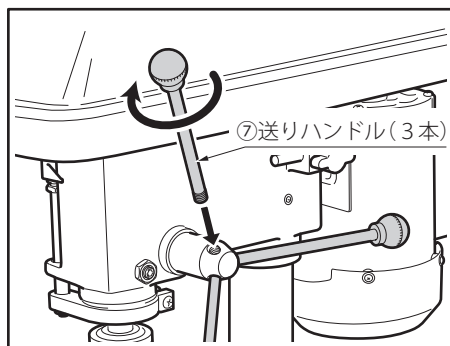
※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■送りハンドルの取り付け

送りハンドル3本をねじ込み取り付けます。

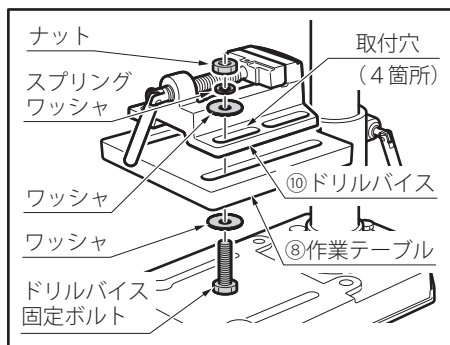
⚠ 注意

確実に取り付けてください。不確実な取り付けは外れて事故やけがの原因となります。

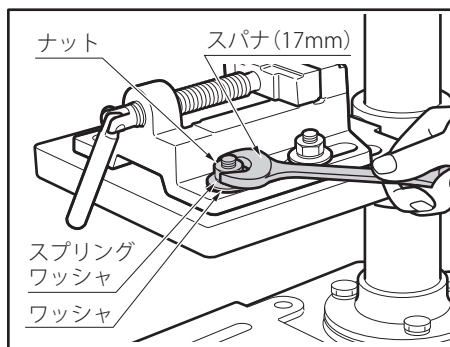


■付属のドリルバイスの取り付け

- ①ドリルバイスを作業テーブルに置き、4箇所（4箇所）の取付穴の位置を合わせます。
- ②ドリルバイス固定ボルトにワッシャを通し、作業テーブル側の取付穴から差し込みます。

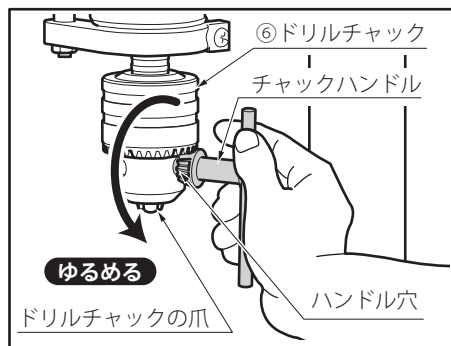


- ③ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットをはめて、スパナ（17mm）で締め付け、計4箇所固定します。



■ドリルビットの取り付け

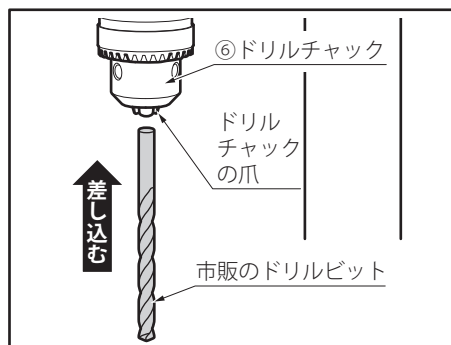
- ①ドリルチャックのハンドル穴にチャックハンドルの先端を差し込み、互いの溝を合わせてください。
チャックハンドルを反時計回りに回して、ドリルチャックをゆるめ、爪を開いてください。



- ②市販のドリルビットを開いた爪にしっかり差し込んでください。

⚠ 警告

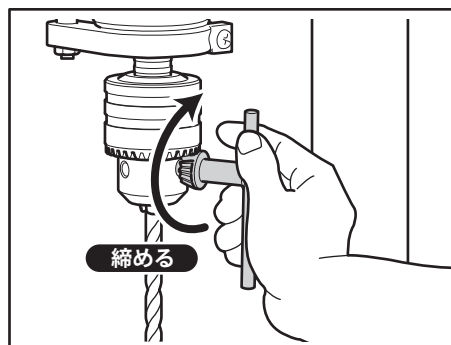
- ・ドリルビットは真っ直ぐに中央に差し込んでください。
- ・加工物に対して適切なドリルビットをご使用ください。



- ③チャックハンドルを時計回りに回して、ドリルチャックを締め、ドリルビットを固定してください。
ドリルビットの交換の際は、同様の手順で交換してください。

⚠ 警告

- ・ドリルビットは確実に固定してください。確実にないと、はずれたり、けがの原因となります。
- ・固定の際は3箇所の各ハンドル穴を利用し、しっかり固定してください。



ご使用前に（準備）

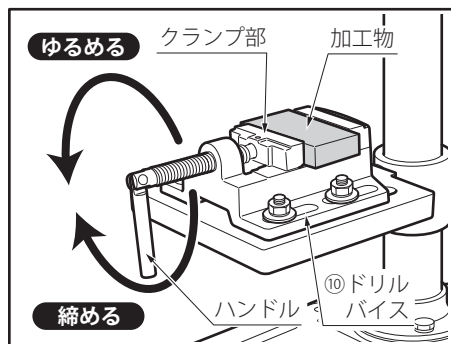
※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■ドリルバイスでの加工物の固定方法

バイスのハンドルを回して、クランプ部に加工物を置きます。ハンドルを回してクランプ部を締め、加工物を固定します。

⚠注意

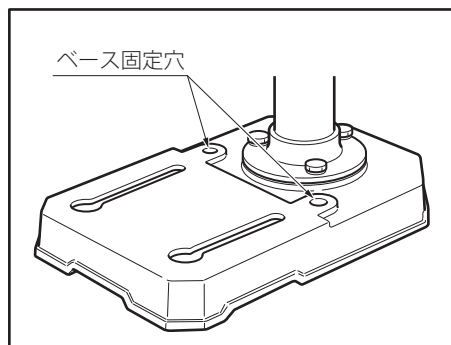
加工する際は、加工物を必ずバイス等でしっかりと固定してください。



■本体の固定

本製品のベースには作業台などに固定するための、ベース固定穴がついています。（穴径12.5mm 2箇所）
作業中の転倒を防ぐために、市販のボルトなどで作業台に確実に固定してください。

※作業台に穴があげられない場合は、大きめの平らな板などに固定し、板ごと作業台にクランプなどで固定してください。



運転手順

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

⚠ 警告

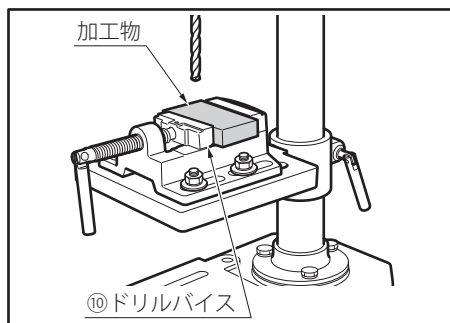
- ・作業環境に応じて、ヘルメット、保護メガネ、耳あて、防じんマスク、安全靴等の保護具を着用してください。
- ・運転前に、ゆるみやガタツキがないかを確認し、各部品等が確実に固定されているか、確認してからご使用ください。
- ・各部の取り付け・調節・固定の際は、必ず、差し込みプラグが電源に差し込まれていないことを確認してください。

⚠ 注意

- ・運転前に、工具類（六角棒レンチ・チャックハンドルなど）が外してあるか確認してください。

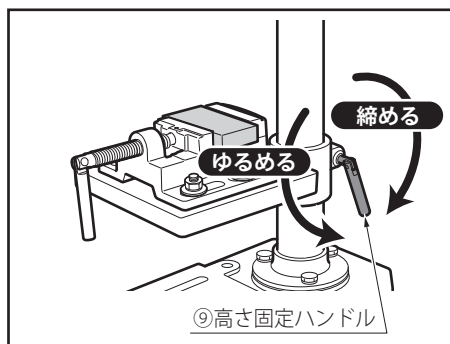
■基本の加工

- ①加工物をドリルバイスのクランプ部に挟んで固定してください。



- ②加工物の高さに合わせてドリルビットの先端の位置を調節します。

高さ固定ハンドルをゆるめてから、作業テーブルの高さを調整し、高さが決まったら、高さ固定ハンドルを締めて固定します。



運転手順

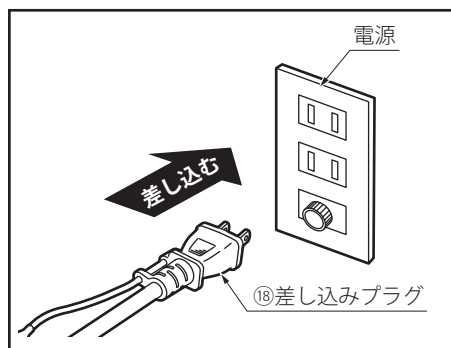
※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■基本の加工（つづき）

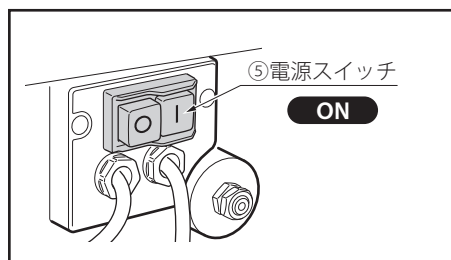
③加工物に合った回転速度になるようにベルトの位置を調整します。

回転速度の調整は、P24「回転速度の調整／ベルトの交換」の手順で行ってください。

④差し込みプラグを電源に差し込みます。



⑤スイッチをONにします。

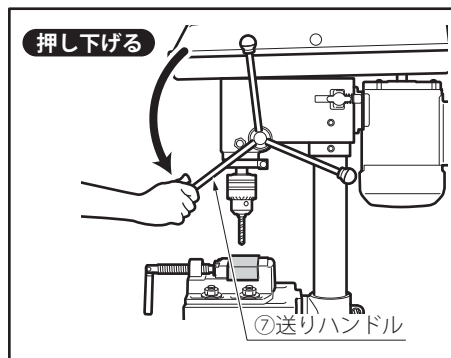


⑥送りハンドルをゆっくり手前に押し下げ、穴をあけます。

※穴あけ位置にポンチを打ち付け、印を付けてから加工をすると正確な位置に穴があけられます。

※穴あけを行う際は、細いドリルビットで下穴をあけてから加工を行ってください。

※穴あけがスムーズにいかず、ドリルや本体に必要以上の負荷がかかっている場合は、無理に穴あけを行わず、ドリルを交換してご使用ください。



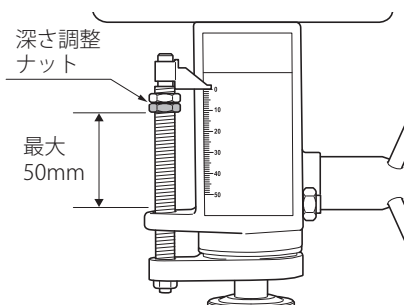
■穴あけ深さ調整加工

穴あけ深さを一定にするにはストローク調整ゲージに取り付いている深さ調整ナットをお好みの位置にセットし使用してください。

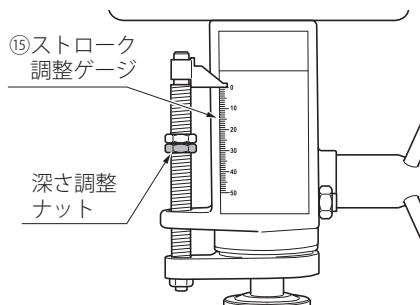
約0mm～50mmの間で穴あけ深さを調整できます。

※ストローク調整ゲージの旗が指す目盛の精度は保証されておりません。目安としてご使用ください。

【調整前】



【調整後】



■ドリル径、加工物材質と回転速度の目安

(単位：min⁻¹)

加工物の 材質	ドリル径（mm）							
	1.5	2	3	4	5	6	7	8
鋼	1750～3140		1280～1750		620～1100		620～740	
鋳鉄	1750～2620	1100～1750	620～1100		620～740			
アルミ	2620～3140		1750～2620		1100～1750	920～1100		620～920
ステンレス	1100～1750	920～1100		620～740				

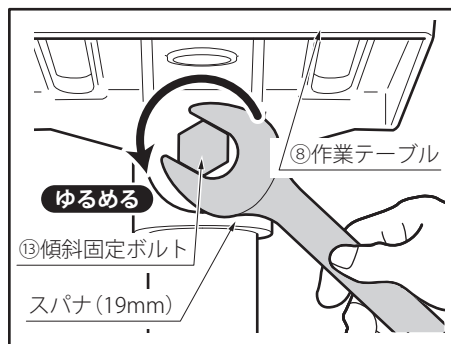
運転手順

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

■作業テーブルの傾斜を調節しての加工

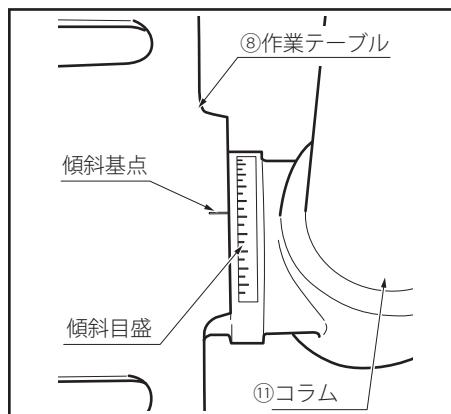
作業テーブルの傾斜角度を調節して加工物を傾かせての切削を行うことができます。

- ①スパナ(19mm)で作業テーブルの下側にある傾斜固定ボルトをゆるめてください。



- ②傾斜目盛は左右45°目盛です。傾斜基点を傾斜目盛に合わせて、任意の角度に調節してください。

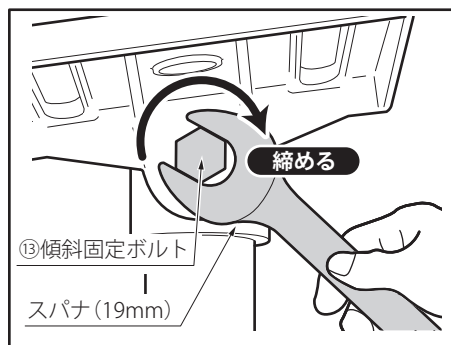
※傾斜目盛は目安としてご使用ください。



- ③スパナ(19mm)で作業テーブルの傾斜固定ボルトを確実に締め、固定してください。

⚠ 注意

固定が不確実だと作業テーブルが不安定となり危険です。



終了手順

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

⚠ 警告

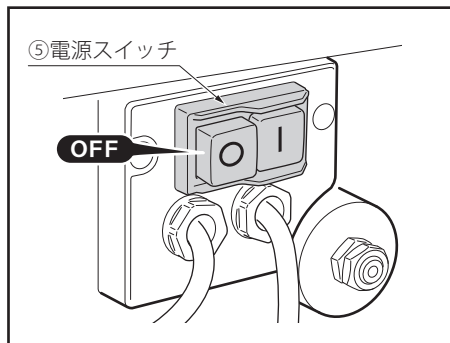
- ・電源スイッチをOFFにした後も惰性で回転しますので、ドリルビットや回転部には十分注意してください。

⚠ 注意

- ・使用後のドリルビットや加工物は熱くなっており、やけどの恐れがあります。素手で触れないように注意してください。

■終了手順

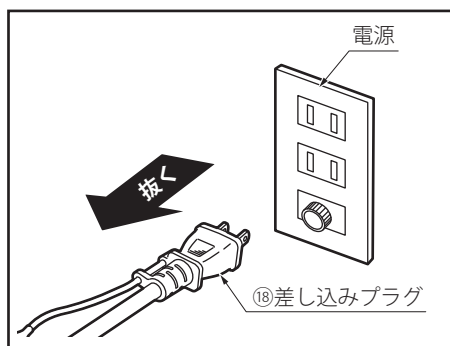
- ①電源スイッチをOFFにしてください。
ドリルビットの回転が次第に止まります。



- ②差し込みプラグを電源から抜いてください。

⚠ 警告

電源コードを引っ張って電源から抜いたりすると、電源コードを傷め、断線・短絡(ショート)の原因になります。



故障かな？と思ったら

●次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
モータが 作動しない	①差し込みプラグが外れている	①差し込みプラグを正しく電源に差し込んでください。
	②モータの故障	②お買い求めの販売店、または、当社へご連絡ください。
スイッチを入れてもモータの唸り音はするが軸が回転しない	①長期間使わないでいた	①長期間使わないでいると起動しにくくなる場合があります。 電源を切った状態で、チャック（軸）を何回転か手で回し、その後電源を入れてください。
ドリルビットが 回らない	①ベルトが外れている	①ベルトを取り付けてください。 【適合ベルトタイプ：Vベルト K-25】 P27 ➡
	②ベルトが切れている	②ベルトの交換を行ってください。 【適合ベルトタイプ：Vベルト K-25】 P26 ➡
異音がする	①ベルトの摩耗・劣化	①ベルトの交換を行ってください。 【適合ベルトタイプ：Vベルト K-25】 P26 ➡
	②プーリ部の汚れ・ほこり	②カバーを開け、清掃してください。

症 状	原 因	解 決 方 法
回転速度が 上がらない	①電圧が低い	①正しい電圧（AC100V）で使用してください。
	②延長コードが長すぎる	②延長コードの使用をやめ、直接電源に接続してください。 ※電源が離れていて、延長コードが必要な時は、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
	③ベルトの摩耗・劣化	③ベルトの交換を行ってください。 【適合ベルトタイプ：Vベルト K-25】 P26
回転時のドリル ビットの振れが 激しい	①ドリルチャックのゆるみ	①ドリルチャックを正しく取り付けてください。 P28
	②ドリルチャックの変形	②ドリルチャックを交換してください。 【適合ドリルチャックタイプ：B16】 P28
	③ドリルビットの変形	③ドリルビットを交換してください。 P15

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または当社までご連絡ください。

お問い合わせや、ご連絡がないまま直接当社に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

回転速度の調整／ベルトの交換

※各部名称・番号はP8～
P10をご参照ください。

⚠ 警告

- ・ベルトが摩耗したり、切れた場合はベルトの交換を行ってください。
- ・交換用のベルトは、必ずVベルト K-25（市販品）をご使用ください。
- ・回転速度の調整やベルトの交換を行う際は、差し込みプラグを電源より抜いてから行ってください。

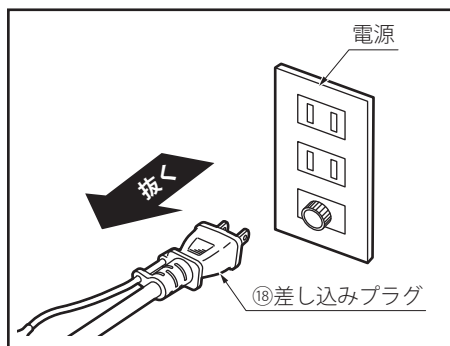
⚠ 注意

- ・ベルトは必ずモータ側プーリーと主軸側プーリーの同じ高さの段に掛けてください。
- ・ベルトの掛け替えは、先に大きい径から小さい径へ移動するように行ってください。
- ・ベルトを下方向に押しながら、プーリーを回転させてベルトを移動させてください。

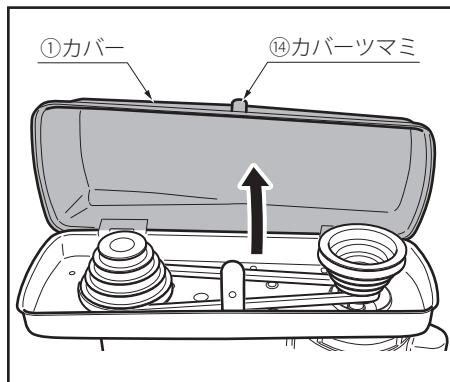
■回転速度の調整

本体上部カバー内のベルトを掛け替えることで、回転速度を変更することができます。
ベルトの掛け替えは以下の手順で行ってください。

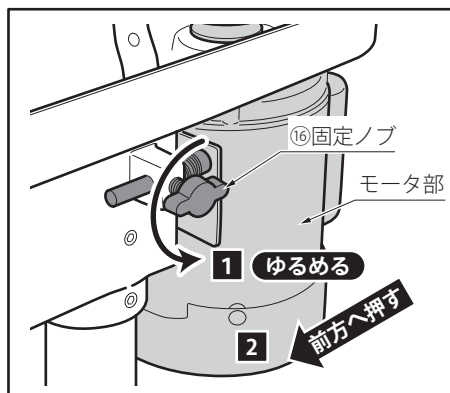
- ①差し込みプラグを電源から抜いてください。



- ②カバーツマミを持ち上げ、カバーをあけてください。



- ③本体右側側面(電源ボタンのない方)にある固定ノブをゆるめて、モータ部を前方へ押し、ベルトの張りを弱めます。



- ④ベルトを掛け替える方向に押しながら、プーリーを回転させて、ベルトの位置調整を行ってください。

※回転速度を速くするときは、主軸側プーリーからベルトの段数を調整してください。

※回転速度を遅くするときは、モータ側プーリーからベルトの段数を調整してください。

【回転速度を速くする】

2 図の方向に回転させる



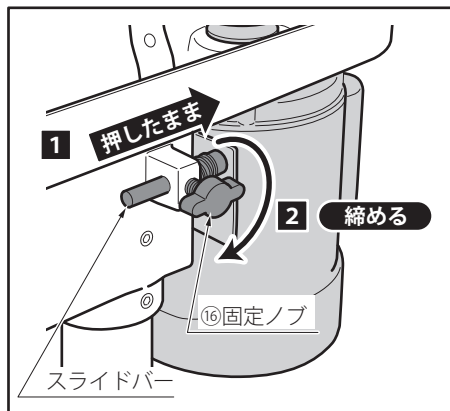
【回転速度を遅くする】

2 図の方向に回転させる



- ⑤掛け替えが終わりましたら、スライドバーを押して、ベルトを張ります。プーリー間でベルトが真っ直ぐになるように張ってください。

固定ノブを締めてください。

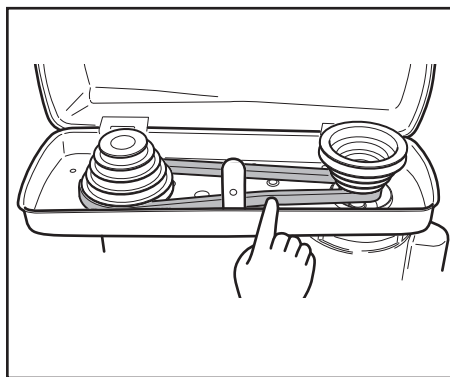


回転速度の調整／ベルトの交換

※各部名称・番号はP8～
P10をご参照ください。

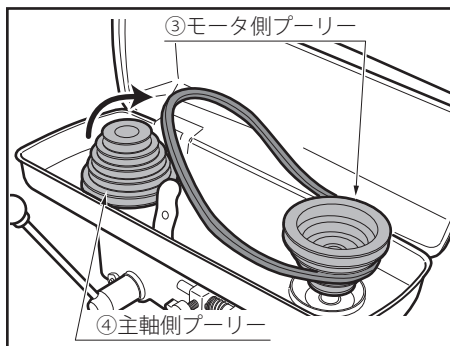
■回転速度の調整（つづき）

⑥ベルトの張り具合を確認してください。



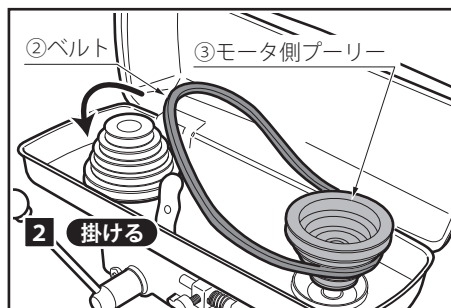
■ベルトの取り外し

- ①P24「■回転速度の調整」①～③の作業を実施してください。
- ②主軸側プーリーにかかっているベルトの段数を上げながらベルトを外してから、モータ側に掛かっているベルトを取り外してください。

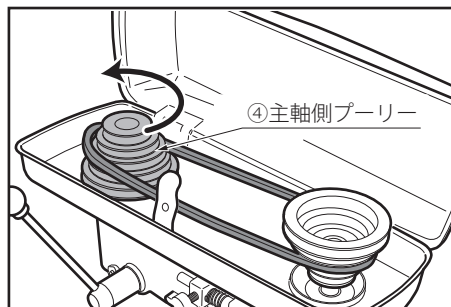


■ベルトの取り付け

- ① モータ側プーリーのお好みの段数へ、ベルトをかけてください。

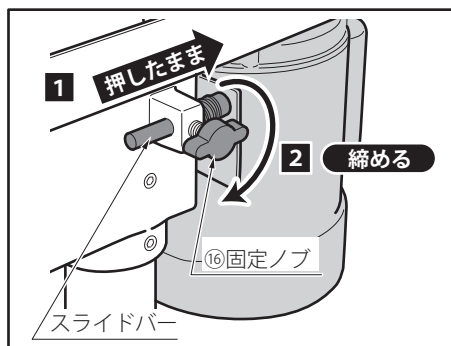


- ② ベルトを主軸側プーリーにも掛け、モータ側プーリーと同じ段数になるまで、ベルトを下方向に押しながら、プーリーを回転させて、ベルトを掛けてください。

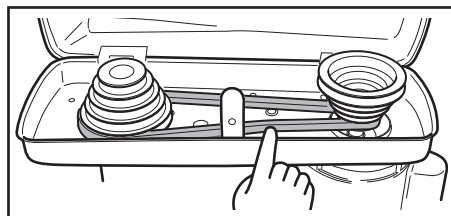


- ③ 掛け替えが終わりましたら、スライドバーを押して、ベルトを張ります。プーリー間でベルトが真っ直ぐになるように張ってください。

固定ノブを締めてください。



- ④ ベルトの張り具合を確認してください。



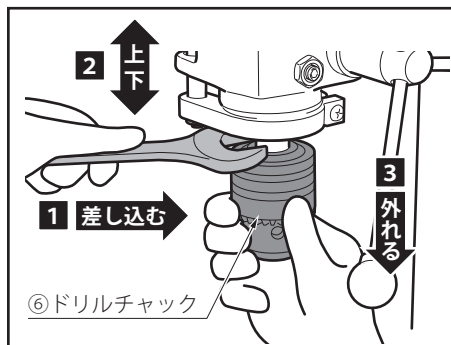
ドリルチャックの交換

※各部名称・番号は
P8～P10をご参照ください。

■ドリルチャックの交換

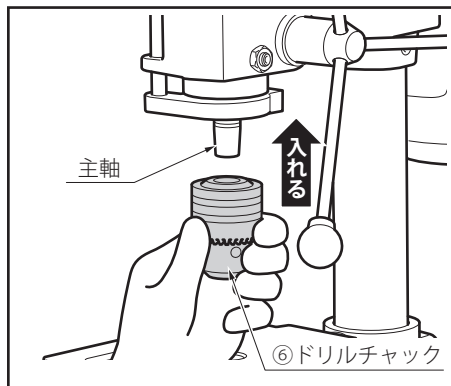
- ①主軸を挟むようにスパナ(16mm以上)をドリルチャックと本体の間に
入れ、スパナを上下させ、ドリル
チャックを取り外してください。

※ドリルチャックは外れると落下しま
す。手でドリルチャックを持ちながら
作業するか、あらかじめ落下地点に厚
いスポンジのようなクッション材を敷
いておき、落下時の衝撃を吸収してく
ださい。

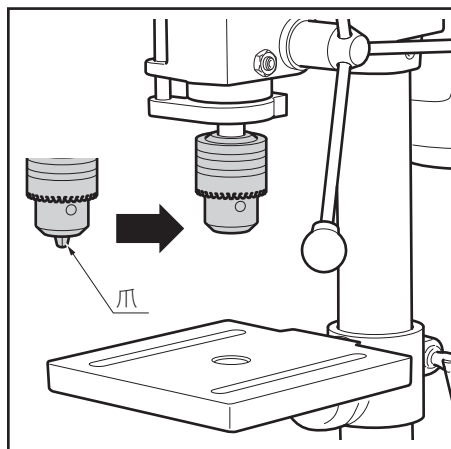


- ②交換用のドリルチャックを用意し、主
軸に合わせてドリルチャックを装着
してください。

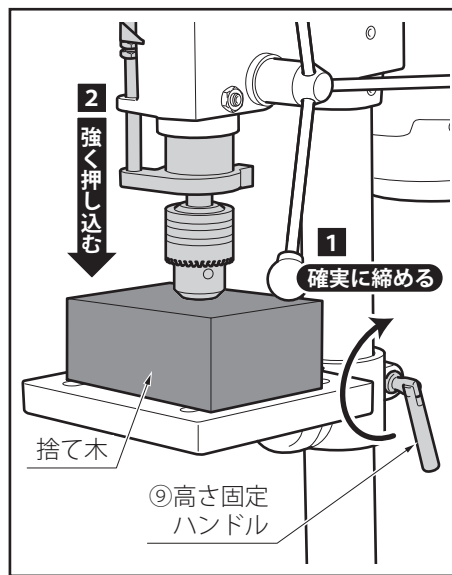
適合ドリルチャックタイプ：B16



- ③ドリルチャックを回して、爪を完全に
開いた状態にしてください。



- ④テーブルの上に捨て木を置いて位置を調整し、高さ固定ハンドルをしっかりと締めてテーブルを確実に固定してください。
- ⑤ハンドルを手前に回してチャックを捨て木に強く押し込んでください。



- ※テーブルがしっかり固定されていないと、ドリルチャックを押し込んだ時にテーブルが落下し、大変危険です。テーブルの位置が決まったらしっかりと固定してください。
- ※捨て木を置かなかったり、ドリルチャックの爪を開かずにドリルチャックを圧入しますと、ドリルチャックの破損や使用時のドリルビットの振れが激しくなる原因になりますので、おやめください。

保守と点検

※各部名称・番号はP8～P10をご参照ください。

⚠ 警告

- ・お手入れや点検の際は、差し込みプラグを電源より抜いてください。事故やけがの原因になります。
- ・故障・異常時はただちに電源スイッチをOFFにして、差し込みプラグを電源から抜いて本製品の使用を中止し、お買い求めの販売店または当社へご連絡ください。

■先端工具の点検

- ・先端工具は消耗品です。作業により変形・摩耗・劣化します。定期的に点検を行い、異常が見られた場合はすぐに交換してください。
- ・切れ味が悪くなったドリルビットを使用すると能率が悪く、また本体にも負担がかかりますので早めに交換してください。

■作業後のお手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。ガソリン、シンナー、石油等での清掃は本体を傷めます。また、水洗いは絶対にしないでください。
- ・ハンドルは常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ・回転部に切削クズやゴミなどが入らないように注意してください。入った場合は取り除いてください。
- ・回転部・可動部には定期的に油を塗ってください。
- ・長時間使用しないときは、ベルトの張りをゆるめベルトを休ませてください。また定期的に点検し、亀裂や損傷がある時は早めに交換してください。

■各部取付ねじの点検

- ・各部の取付ねじは定期的に点検し、ゆるんでいたら締め直してください。そのまま使用すると危険です。

■保管について

- ・使用しない場合は、電源スイッチをOFFにして、きちんと保管してください。次の場所には保管しないでください。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 直射日光の当たる場所

MEMO

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品名		組立済み卓上ボール盤	型式	DP-220KPA
お買い上げ日※		年 月 日	保証期間	6ヶ月
お客様※	ご住所	〒		
	ご氏名	様		
	電話番号	- () -		
販売店※	住所			
	店名			
	電話番号			

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

株式会社 パオック

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21

TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559

URL <https://www.paock.co.jp>